

森林環境教育（森林ESD）プログラム分析シート

団体名： 極楽橋森林整備プロジェクト実行委員会

プログラム名： 「世界遺産・高野山」極楽橋の森人(もりんちゅ)		
プログラムの目標	「世界遺産・高野山」の玄関口にふさわしい景観作りの大切さを知ること	
プログラムの概要	イロハモミジの植樹スポットを数ブロックに分けて班分けをする 長カマの使い方を学習し、下草刈りを体験する 国有林の間伐材を使用した木材加工体験を実施する 「世界遺産・高野山」までの参詣道を歩く	
プログラムの展開		
時間数	プログラムタイトル	
	活動内容	指導・支援の方法、ポイント等（教材等）
0.5	「世界遺産・高野山」極楽橋の森人(もりんちゅ)の実施準備	
	実施場所の説明 『極楽の森』の説明 作業上の注意 作業班分け	実施場所の説明をおこない、『極楽の森』について知ってもらう なぜ普通のカマではなく長カマを使用するのか、また、なぜ白っぽい服装で作業するのかなどの意味を伝え、自然に向き合う心構えを学習する
1	森人(もりんちゅ)の下草刈り体験	
	大人のリーダーによる実演指導	長カマの使用方法を実演で指導し、正しい使い方を学ぶ 刃物カバーの意義を伝えとともに、道具の管理や扱う上での注意点などを意識してもらう
1	森人(もりんちゅ)の木材加工体験	
	国有林の間伐材を使って、キーホルダーを作製する	木材の温もりを感じてもらい、手作りの楽しさを体験してもらう 全員が作品を仕上げるができるよう、また、怪我のないように注意する
1	森人(もりんちゅ)の参詣道ハイキング	
	「世界遺産・高野山」までの参詣道を歩く	高野山への参詣道の一つである『不動坂』を歩き、開創1200年の歴史と自然にふれてもらう
2	まとめ・発表	
	学校に帰って絵を描く	体験した内容を絵に描いてもらい、高野山駅及び極楽橋駅、南海高野線の車両に掲出する

森林環境教育 の視点	1	感性的経験	感性的な内容－森林の感覚的把握や美的把握、畏敬の念など				
	2	自然的特性	森林の自然的特性に関わる内容－植物や動物の生態など				
	3	多面的機能	森林と人とのかかわりに関する内容－森林の働き、保安林など				
	4	現状・課題	森林の現状に関する内容－森林の荒廃、人手不足など				
	5	管理・維持	森林の管理・維持に関する内容－森林整備、育成、維持、管理など				
	6	歴史・文化	森林とのかかわり方の歴史－その土地での歴史、薪炭林、炭焼き				
項目番号	活動の分析（森林環境教育の視点） 上位3項目						
5 管理	植樹したイロハモミジの育成のために下草刈りを実施し、樹木が育つのに必要な維持管理作業を学ぶことができる						
1 感情的	樹木や草花のある景色を眺めたり、川のせせらぎに耳を傾けたりして自然を体験することができる						
6 歴史	高野山への参詣道の一つである『不動坂』を歩き、高野山開創1200年の歴史にふれるきっかけをつくる						
ESDの要素 （生きる力）		能力	1	批判的に考える力	態度	5	他者と協力する態度
			2	未来像を予測して計画をたてる力		6	つながりを尊重する態度
			3	多面的、総合的に考える力		7	進んで参加する態度
			4	コミュニケーションを行う力			
項目番号	活動の分析（能力・態度の視点） 上位3項目と実施後の変化						
3 多目的	高野山の魅力は寺社仏閣だけでなく、周囲の森林も含めた紀（木）の国の全てであることを認識するきっかけとなる						
実施後、 参加者の 変化							

学習指導要領との関連（上位3項目）		
教科	項目	学習内容
6年 社会	歴史や文化のかかわり	高野山の魅力は山内に建ち並ぶ寺社仏閣だけでなく、町を囲む緑深き森林も含めた紀（木）の国の歴史であることを認識する
5年 6年 道徳	自然環境を大切にする	自分自身が植樹し、維持管理しているイロハモミジを生涯にわたって見守ることで、自然環境保全の意識を高めるようにする
3～ 6年 総合	探求的な学習	「なぜ、空海が都から遠く離れたこの高野山の地に、真言密教の道場を開いたのか」に思いをはせる
プログラムでの学校との連携（取組内容）		
プログラムでの地域との連携（取組内容）		
プログラムの今後のめざす方向・展開		
地元森林組合のメンバーや金剛峯寺の僧侶とともに森林整備作業を実施することで、森林や高野山の歴史に興味を持てるようなプログラムを計画する		
現状での課題など		
森林整備エリアが限られているため、複数の学校を短期間に受け入れるのが困難である		
質問事項、知りたい情報など		
・一般ボランティアを集める方法 ・森林整備の取り組みを広く周知させるための広報手段等		